

マニフェスト項目		3年目の活動内容	自己採点	4年目の抱負	第三者 取組評価	第三者 取組評価
育み	子どもたちは社会の宝。健やかな育ち・育みを応援します。	①アメリカ村に子育て支援の拠点施設として「子育てサークル」を開設します。	100	子育てサークルの組織化も充実してきている中で、組織の活動をさらに活性化するように活動のPR等を充実させるためHPの作成やネットでの情報交換等の事業に発展出来るように働きかけていきたい。	50	83
		②『三沢市子育て支援条例』の提案	35	個人の考え方を一度整理し、条例ありきではなく、子育て支援の充実に向け条例の理念を事務事業並びに施策に溶け込ませていきたい。	25	42
安の	必ず来る災害。安全・安心のため防災・減災力を向上します。	①災害防災ボランティアを2倍に増やします。	80	災害防災ボランティアについては、人材育成の面ではまだまだ不十分である。00年振りに連絡協議会も設置され、震災での市民のボランティア意識も高揚してきているので引き続きリーダー育成の事業実施に向け積極的に取り組んでいきたい。	35	58
		②消防団員のスキルアップと増員を図り、充足率100%を目指します。	80	震災発生後、消防団への注目度も高まってきていることから「自分たちの地域は自分たちで守る」みさわドリームプランに掲げた地域力アップの施策と併せて100%を達成させたい。	45	75
働き	チャンスは希望の源泉。生きがいのある多様な場を創ります。	①アメリカ村整備事業で、若者100名以上の雇用を目指します。	70	みさわドリームプランの実現に向け、MGIの情報公開を促すと同時に、商店街や関係団体(商工会青年部・JC・NPO)の連携を強化し、MGプラザの健全な運営から若者の雇用を創出したい。また、マニフェストに掲げた空き店舗対策を強化、具現化し若い人たちが起業出来る環境を整備したい。	45	75
		②シニア世代の経験やノウハウを活かす「地域シニア活用プラン」をつくります。	75	技術や知識のあるシニア・高齢者の雇用・活用を「みさわドリームプラン」に盛り込むことが出来たので、会派として全力で取り組んでいきたい。また教育支援プラットフォーム事業を通じて、さらに実績を積み上げていき具体的な事業を提案したい。	45	75
		③観光施設を結ぶ二次交通体系の確立を目指す。	60	三沢市地域公共交通会議が平成22年11月～23年3月まで実証運行後、三沢市コミュニティバスが運用開始。5月にダイヤを見直し市の新たな交通体系を構築したが、未だ不便解消には至らず。また、併せて二次交通の必要性をも唱えてきたが先送りされた。自らが関わる三沢航空科学館でのオンデマンド送迎は実施したものの利用者は無かった。	35	58
公の	お役所仕事をなくす。信頼性と機能性の高い行政へと導きます。	①談合や不正を根絶し、事業をさらに効果的にする入札制度を定着させます。	80	「みさわドリームプラン」の実現を目指し、会派全体で取り組みたい。また、関連企業並びに担当課等のヒアリングを行い実態を把握したい。入札以外にも、指定管理者制度の最適化に向けて取り組みたい。	45	75
		②行政評価システムを市民の皆様へ、より判り易く公表するようにします。	20	行政評価委員会を市民と共に傍聴する機会を作り、市民から直接の声を聞くことを実施したい。	30	50
学び	学校は社会の入り口。期待に応えられる教育に再生します。	①食育を進め、三沢産の安全でおいしい給食を子どもたちが味わえるようにします。	70	再来年度より農産物加工施設(新給食センター)が稼働することから、「みさわドリームプラン」の地産地消条例の制定にも絡め会派全体で取り組んでいきたい。	45	75
		②家庭や地域と協働し経営する新たな学校づくりを進めます。	75	3回目を迎える「コミュニティ・スクールフォーラム」では、新たに教育支援プラットフォーム実行委員会も共催に加わり、より広域的に取り組む。また、これまで2回を振り返り改めてリーダーの育成について考えさせられた。よって、人づくりの観点からフォーラムではワークショップを若者・企業・PTA・NPO等を中心に実施し今後の展開を協働していきたい。	45	75
		③深刻ないじめ、不登校・児童虐待の根絶を目指します。	20	「スクールソーシャルワーカー」について研究し、小学校への配置の可能性について考えてきた。今年度は、必ず一般質問で実施を訴えたい。	20	33
		③『三沢市地産地消推進条例』の提案	60	「みさわドリームプラン」に地産地消条例の早期制定を目指す！と盛り込むことが出来た。	45	75
		この条例を「みさわドリームプラン」に盛り込むことは出来なかったが、タウンミーティングで中心市街地活性化(アメリカ村)事業に絡めてこの条例の必要性は訴えてきた。	55	会派で提出出来るよう頑張りたい。	35	58

マニフェスト項目		3年目の活動内容	自己採点	4年目の抱負	取組評価	取組評価	
環の	かけがえない地球。環境づくりで発展と保全を調和します。	②基地による騒音対策が形骸化する中、新たな住民参加の基地対策のしくみを確立させます。	一般質問で今後の基地機能のあるべき姿について質問。「在日米軍の再編の中で基地のあるべき姿については市民と新たな話し合いの場が必要だと考えている」との答弁を引き出す。(平成23年3月)	60	F16撤退や沖縄F15の部隊移転の先地として三沢基地に関わる情報は依然として不透明である。これからも市民との新しい発想での三沢基地の在り方をタウンミーティング等を通じて話し合っていく。また、行政にも昨年引き出した「新たな話し合いの場」実現に努力したい。	35	58
		③『三沢市歩きたばこ、ゴミのポイ捨て禁止条例』の提案	条例案は作成したが、提案まで至らなかった。会派では議論は進んでいる。	50	会派で提出出来るよう頑張りたい。	35	58
議の	住民から預かった立場。その負託に応える議会改革を進めます。	①議会のあり方や責任を明確に位置付けます。	「みさわドリームプラン」に「議会基本条例」の制定を盛り込むことが出来た。また、開かれた議会の実現の為「(仮称)行財政改革特別委員会」の設置を要望し議長から設置する旨の回答をいただいた。さらに、議会のあり方を示す意味で、会派として平成22年6月、第一回議会報告会&タウンミーティングを開催した。	60	「みさわドリームプラン」に盛り込んだ「議会基本条例」制定に努力する。会派として「議会改革フォーラム」の開催も働き掛けたい。	50	83
		②市民の声を届ける為、委員会の所属のあり方や定数を見直します。	議会改革に反対する勢力に押し切られ議運でも取り上げていただけなかった。	10	「みさわドリームプラン」に盛り込んだ「議会基本条例」制定に努力する。会派として「議会改革フォーラム」の開催も働き掛け、その中で具体例として取り上げ市民と共に考える機会としたい。	45	75
		③年最低1本以上の議員提案による条例を制定いたします。	議員提案条例ではないが、「三沢市選挙公報発行条例」が制定(平成23年3月)され、予算執行後三沢市で初めて選挙公報が発行された(平成23年6月三沢市長選挙・市議会補欠選挙)。	90	『三沢市歩きたばこ、ゴミのポイ捨て禁止条例』案を会派の協力をいただき提出したい。	50	83
		④議会費(報酬削減や議員定数削減など)の見直しを行います。	震災復旧を切り口に「議員報酬削減条例」を会派で提出する準備を行った。	50	「みさわドリームプラン」に盛り込んだ「議会基本条例」制定に努力する。会派として「議会改革フォーラム」の開催し、市民と共に考え実行に移していきたい。	40	67
		⑤『三沢市議会基本条例』の提案	1年を掛け、議会改革の必要性を訴えてきたが定数削減ありきの議論から逸脱できず条例制定の議論する特別委員会も設置することが出来なかった。会派として、県内初の議会報告会&タウンミーティングを開催した。	60	「みさわドリームプラン」に盛り込んだ「議会基本条例」制定に努力する。会派として「議会改革フォーラム」を開催し市民と共に考え世論を味方に付けられるよう努力したい。	45	75

平均
60.0

平均	平均
40.2	67.1

10点満点 100点換算

その他

マニフェスト項目		3年目の活動内容	自己採点	4年目の抱負	取組評価	取組評価
議会内	毎定例会の一般質問、委員会質問で市政に関するチェックと市政への提案を行います。	引き続き全ての定例会において、マニフェストと市民ニーズに応じた一般質問を行った。また会派によるタウンミーティング等での意見を一般質問に多く取り入れた。	100	会派の議会報告会&タウンミーティングでの市民の声を一般質問にどんどん取り入れいく。もちろん「みさわドリームプラン」実現に絡め行政の実情をチェックする。	10	100
情報公開	議員としての活動状況を分かりやすく報告していきます。	みさわ未来のHP上で議会での議決内容や議会報告会&タウンミーティングの内容を紹介した。また、街頭演説会も開催し会派情報紙[未来からの風]を増刊号も含め5号発行。議員個人としては、自らの考え方を市民の皆さまへHPやブログ、ツイッターを通じて伝えることが出来た。	90	日常はHP、ツイッター等を活用し、市民へ議会活動や政治活動を伝えていく。また今年が任期の最終年度でもあるためマニフェスト評価も含め、後援会情報紙も作成したい。もちろん、これまで通り会派の活動を通じ情報を積極的に開示していきたい。	10	100
自己啓発	議員として必要な知識に関する自己啓発を積極的に行います。	各種研修会へ積極的に参加すると共に、みさわ未来の政策部長として積極的に勉強会を企画、提案して合計9回の研修会を実施。会派としての政策力強化に貢献できたと思う。また、自らの関わるNPO法人等でも、市民や大学(青森中央学院大・八戸工大)を巻き込み、積極的に勉強会、研修会を開催した。	95	研修会は下より、人との出会いを大切にしていきたい。特にマニフェスト大賞実行委員として東北ブロック長を拝命したことから、東北での出会いの場を大切にしていきたい。特に東北は震災等の復旧・復興事業に関わることからボランティアの方々等、積極的に出会いを求めていきたい。	8	80